故事成語

昔の出来事（故事）がもととなってできた言葉を**故事成語**という。故事成語の多くは、中国の古典に記された話がもととなっている。

（例）

・**五十歩百歩**

意味 わずかな違いはあるが、本質的には同じであること。

由来 五十歩逃げた者が百歩逃げた者を笑うのは、逃げたことに変わりはないのでおかしいというたとえ話から。（『孟子』）

・**背水の陣**

意味 一歩も引くことができない立場で、全力で事に当たること。

由来 漢の将軍・韓信が、あえて川を背にして陣をしき、兵に決死の覚悟で戦わせて敵を破ったという故事から。（『史記』）

・**四面楚歌**

意味 周囲を敵に囲まれ、孤立すること。

由来 楚の項羽が漢の劉邦の軍に包囲されたとき、夜、四方の漢軍から楚の歌が聞こえた。項羽は驚き、既に楚の人々が漢に降伏したのだと思い嘆いたという故事から。（『史記』）

・**推敲**

意味 詩や文章の表現を何度も練り直すこと。

由来 唐の詩人・賈島が「僧推月下門」という句の「推す」を「敲く」に改めるべきか悩んでいたところ、都の長官である韓愈の行列にぶつかってしまった。わけを話すと、韓愈は「敲く」がよいと助言したという故事から。（『唐詩紀事』）

矛盾

楚人に、盾と矛とを鬻ぐ者有り。之を誉めて曰はく(ワ)、
楚の国の人で、盾と矛とを売る者がいた。（その人が）盾をほめて言うことには、

「吾が盾の堅きこと、①能く陥す(トオ)もの莫きなり。」と。
私の盾の堅いことといったら、

又、其の矛を誉めて曰はく(ワ)、

「吾が矛の利なること、物に於いて②陥(トオ)さざる無きなり。」と。
私の矛の鋭い（鋭利な）ことといったら、物で突き通せないものはない、と。

或るひと曰はく(ワ)、

「③子の矛を以(モッ)て、子の盾を陥(トオ)さば、何如。」と。

④其の人、応(オ)ふること能はざる(ワ)なり。
答えることができなかった。

（『韓非子』）

『韓非子』と「矛盾」

『韓非子』は今から二千年以上前の中国の戦国時代の思想家・韓非の言説をまとめたもの。韓非は「矛盾」のたとえ話をもとに、孔子が堯と舜という二人の天子をともに聖人としたことを批判している。

確認テスト

本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) ――線①「能く陥すもの莫きなり」の意味を選びなさい。

ア (これを)突き通せるものはない
イ (これを)突き通せないものはない
ウ (これを)あまり突き通すものはない
エ (これを)あまり突き通さないものはない

〔　　〕

(2) ――線②「陥さざる無きなり」と同じ意味を表すものを選びなさい。

ア 何も突き通せない
イ 何でも突き通せる
ウ 何かは突き通せるだろう

〔　　〕

(3) ――線③「子の矛を以て、子の盾を陥さば、何如」の意味を選びなさい。

ア 子どもの矛で子どもの盾を突き通してはならない
イ 子どもの矛で子どもの盾を突き通すとどうなるのか
ウ あなたの矛であなたの盾を突き通してはならない
エ あなたの矛であなたの盾を突き通すとどうなるのか

〔　　〕

(4) ――線④「其の人」と同じ人物を指す本文中の言葉を次から選びなさい。

ア 盾と矛とを鬻ぐ者　　イ 或るひと

〔　　〕

(5) 次のA～Dの故事成語の意味を、それぞれ選びなさい。

A 矛盾〔　　〕　B 蛇足〔　　〕
C 四面楚歌〔　　〕　D 推敲〔　　〕

ア 周囲を敵に囲まれ、孤立すること。
イ 詩や文章の表現を何度も練り直すこと。
ウ あっても益がない、余計なもの。
エ つじつまが合わないこと。